

施設全体評価

あなたについて、以下に記します。

1) 構造評価  
「場をつくる」領域、「患者への接近」領域、「家族の絆を強める」領域、「直接ケア」領域、「内なる力を育てる」領域は維持されていました。構造では前回との差異は維持されていました。

2) 過程評価  
「患者への接近」領域、「場をつくる」領域、「患者への接近」領域、「場をつくる」領域は維持されています。今後この質を維持されることを期待しています。

3) 結果評価について  
①患者満足度評価について  
患者満足度は、前回調査の結果と比較すると、僅かに向上しました。施設全体の平均値と比較すると、僅かに向上しました。

②インシデント評価について  
転倒と転落の件数がかつての水準に近く発生しています。これまでの経験で、過半数が軽傷となり、インシデントを未然に防ぐ、「インシデントを防ぐ」に関連して、不慮かき起こす可能性もありません。過程評価は一部の看護士もを表しますのので、これらのことを確認する

施設全体の平均は、前年度の調査結果と比較して、向上したデータである。今後の調査結果を求めています。

60日間の入院患者のべ人数 ×1,000

施設全体評価

貴病棟の調査結果は、前年度と比較して、以下の領域で比較的良好に維持されています。また、6領域すべてで大変よく維持されています。患者満足度は、前年度と比較して向上しています。また、構造、過程の領域でよい評価であるにもかかわらず、インシデントの発生率については格段の減少は見られませんが、引き続き取り組みを継続してください。今後、現在の質を維持し、さらなる向上を期してまいります。

これは、これまでの約10年間の調査結果に基づき、病棟の皆さん全員でお話している内容です。その他お気づきのことがありましたら、もしくは otazune@nu.ac.jp までご連絡ください。今後の研究班の活動に大変助けになります。

次頁は、あなた自身の評価結果のグラフです。

病棟ID

07年度

病棟の所属区分：一般病棟

看護職員数：54

あなたの病棟の結果です。

### 構造得点 注) 全国平均値は、全病棟の平均値です。...

項目 (満点)	得点	率 (%)	前回の結果	前々回の結果
患者への接近 (10)	8.7	87.0%	8.0 (100.0%)	-
内なる力を強める (11)	8.3	75.0%	10.0 (83.3%)	-
家族の絆を強める (15)	12.0	80.0%	13.0 (92.0%)	-
直接ケア (27)	19.0	70.0%	19.0 (73.1%)	-
場をつくる (12)	22.0	91.7%	22.0 (91.7%)	-
インシデントを閉ぐ (15)	15.0	93.8%	-	-

### 過程得点

項目 (満点)	得点	率 (%)	前々の結果
患者への接近 (10)	8.7	87.0%	-
内なる力を強める (11)	8.3	75.0%	-
家族の絆を強める (15)	12.0	80.0%	-
直接ケア (27)	19.0	70.0%	-
場をつくる (12)	22.0	91.7%	-
インシデントを閉ぐ (15)	15.0	93.8%	-

### アウトカム (患者満足度)

項目 (満点)	得点	率 (%)	結果
患者への接近 (10)	5.2	52.0%	-
内なる力を強める (6)	5.5	91.7%	-
家族の絆を強める (6)	5.1	85.0%	-
直接ケア (10)	7.4	82.2%	-
場をつくる (6)	5.0	83.3%	-
インシデントを閉ぐ (6)	5.2	86.7%	-

### アウトカム (インシデント1000人あたり)

項目	今年度の結果	前回の結果	前々回の結果
転倒	0.5	0.73	-
転落	4.04	-	-
褥瘡	0	-	-
院内感染	1.1	-	-
落傷	8	-	-

### 総合評価

インシデントを閉ぐ

場をつくる

直接ケア



当該領域で「回答しない」が1項目以上あった場合は0点として表示されます。  
※満点を100として%で表示しております。